

様

# 特別交付税に関する要望



高校魅力化事業（津和野町）

令和2年2月

島根県町村会



島根県の町村行政の推進と本会の運営につきましては、平素から格別の御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年夏のオリンピックを控え、首都圏での人手不足が加速し、地方の社会減が更に進行することが懸念される中において、我々町村は、第1期の地方版総合戦略の仕上げと、第2期戦略の策定に向けた検討を本格化させております。

県内町村では、これまで独自の定住対策や子育て支援策に取り組み、そうした施策の効果もあって、合計特殊出生率は1.91と、都市部に比べてかなり高い水準を維持しています。

また、島根県独自の取組として、「高校魅力化」を進めており、離島や中山間地域の高校には、県外から多くの高校生が「しまね留学」するなど、大きな成果が上がっています。

他方で、人口急減地域における働き手の確保対策、地域医療を支える拠点病院への支援、更に、隠岐諸島と本土を結ぶ離島航路・航空路の運賃引き下げなど、住民生活に密着した待ったなしの行政課題への対応も求められております。

しかしながら、県内町村はいずれも離島や中山間地域など条件不利地域に位置しており、財政基盤も極めて脆弱です。

つきましては、こうした厳しい環境の中でも、やる気のある町村が十分に施策展開できるよう、令和元年度の特別交付税の決定に当たっては、以下の特別な財政需要などに対し、特段の御支援を賜りますようお願いいたします。

令和2年2月5日

島根県町村会長 下 森 博 之

## 特別な財政需要としての要望事項

### 1. 人口減少対策、地方創生関連経費

#### (1) 定住対策経費

人材確保(UIターン、人材育成)、定住住宅・空き家整備、雇用対策、起業家や事業承継への支援等

#### (2) 少子化対策経費

小規模保育所の維持、乳幼児医療助成、子育て支援、結婚出産対策等

#### (3) 地域交通対策経費

町営バスの運行や離島内航船の運航など、住民生活を守るため通院、通学、買い物などの移動手段の確保

#### (4) 地域医療対策経費

- ① 医師、看護師など医療従事者の確保等
- ② 地域医療を担う不採算地区病院の支援等

#### (5) 住民自治組織で運営する地域活動支援経費

公民館等の地域拠点施設での住民組織による防災対策、自治会輸送、地域づくり、伝統文化の継承等の積極的な推進

#### (6) 学校の維持や教育の魅力化を核とした地域活性化経費

小・中・高校の維持や教育移住を加速するための島留学・山村留学、離島・中山間地域の高校魅力化、学生寮の整備



町営バス（隠岐の島町）



森の保育所（飯南町）

## 2. 各地域における特殊事情による財政需要

### (1) 災害復旧関係経費

災害廃棄物処理経費、被災者民間住宅家賃補助、土砂撤去等応急工事費等

### (2) 国境離島振興経費

竹島問題に関する啓発・調査研究、隠岐ジオパーク関連、隠岐航路の運航支援、隠岐航路運賃の低廉化拡大経費、産業廃棄物の島外処理経費

### (3) JR三江線代替交通確保対策経費

平成30年3月末で廃止されたJR三江線の代替交通確保、鉄道資産活用に係る経費

### (4) 情報化対策経費

地域情報化(CATV、ブロードバンド)、行政情報化(クラウド化、マイナンバー対応、システム改修)等

### (5) 高速道路開通の影響を受ける地域の振興経費

松江自動車道(無料区間)の開通により撤退した民間バス路線への代替措置、国道54号線の利用激減に対する地域振興対策

## ■ 島根県町村の特別交付税決定額の推移

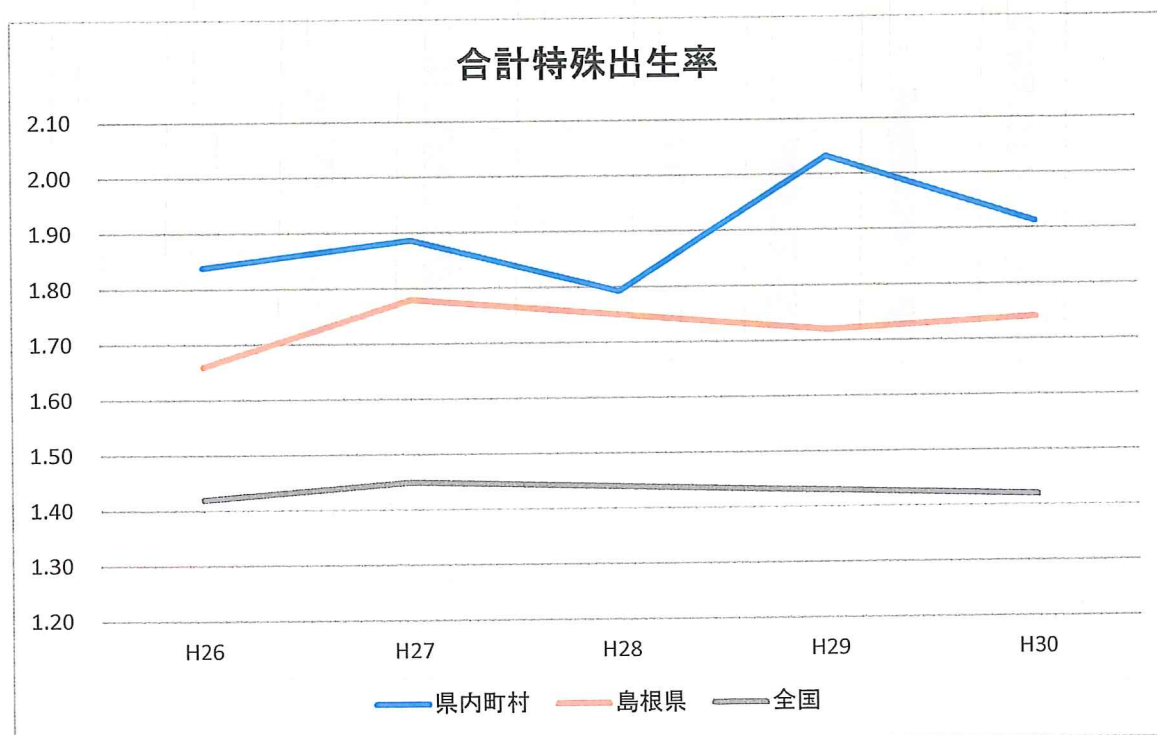
(単位:千円)

市町村名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
奥出雲町	672,843	654,940	659,884	536,536	573,563
飯南町	542,417	538,760	512,989	445,231	435,804
川本町	354,347	372,327	354,607	259,839	347,691
美郷町	422,756	438,616	442,240	320,771	329,918
邑南町	786,275	810,329	787,951	633,163	611,887
津和野町	686,436	711,041	712,554	607,369	592,139
吉賀町	431,288	436,249	430,185	338,922	387,731
海士町	366,543	442,162	447,399	444,582	419,793
西ノ島町	368,956	360,148	352,581	306,246	312,940
知夫村	149,914	149,226	150,094	127,759	143,284
隠岐の島町	871,680	869,646	885,667	752,911	746,034
町村計	5,653,455	5,783,444	5,736,151	4,773,329	4,900,784
増減率	▲3.3%	2.3%	▲0.8%	▲16.8%	2.7%

▲963(福祉事務所設置経費が普通交付税化されたことによる減が主な要因)

## ■ 合計特殊出生率の推移(町村は人口動態統計から試算)

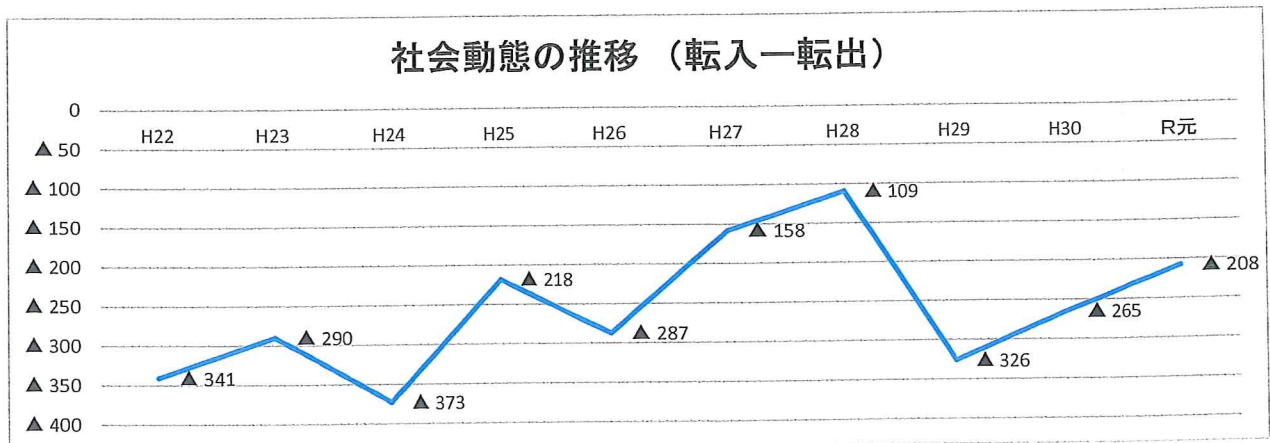
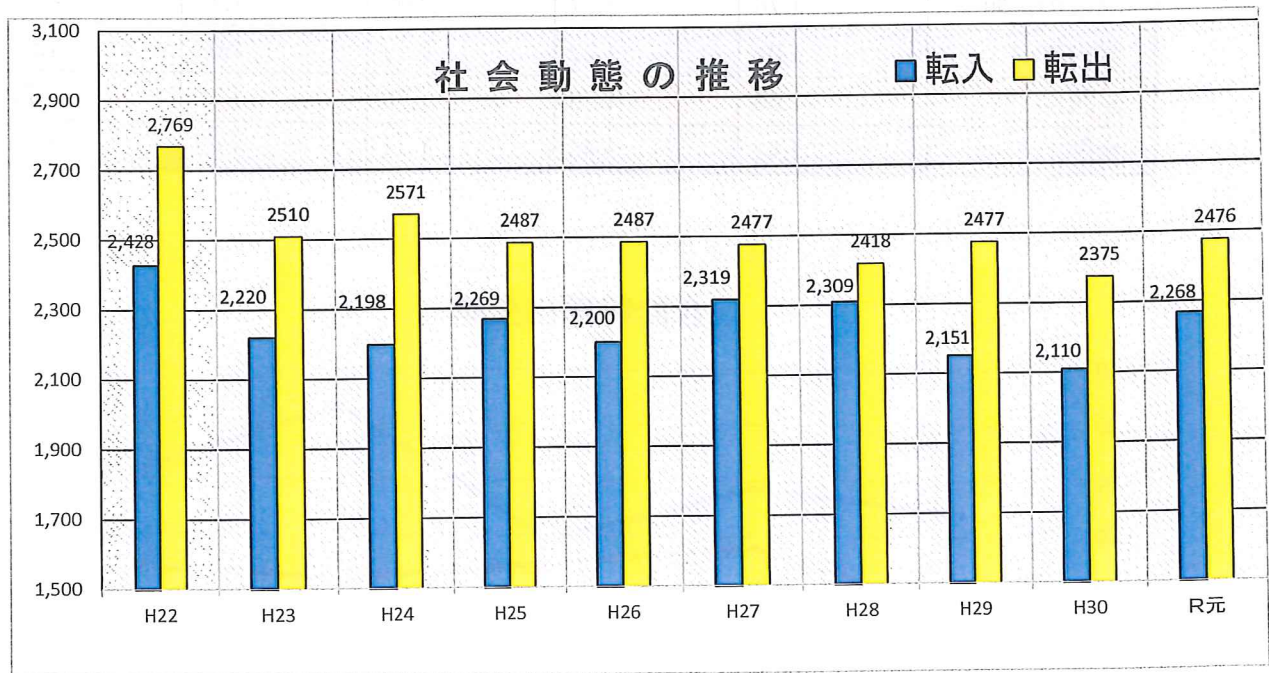
	H26	H27	H28	H29	H30
奥出雲町	1.82	1.71	1.87	1.74	1.65
飯南町	1.30	1.39	2.15	2.03	1.09
川本町	1.63	1.76	1.34	1.70	2.06
美郷町	2.36	1.80	1.74	1.50	2.21
邑南町	2.07	1.92	1.59	2.61	2.09
津和野町	1.86	1.53	1.70	1.72	1.12
吉賀町	1.93	1.95	1.45	2.69	1.97
海士町	2.03	1.88	2.00	1.21	1.51
西ノ島町	1.73	2.10	2.35	2.26	2.05
知夫村	1.25	2.08	2.18	1.32	2.24
隠岐の島町	1.76	2.37	2.02	2.43	2.62
県内町村	1.84	1.89	1.79	2.03	1.91
島根県	1.66	1.78	1.75	1.72	1.74
全国	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42



## ■ 町村別人口の社会動態の推移(転入－転出)

(単位:人)

町村名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
奥出雲町	▲ 163	▲ 46	▲ 92	▲ 74	▲ 104	▲ 82	▲ 95	▲ 142	▲ 106	▲ 82
飯南町	20	11	8	▲ 45	▲ 60	▲ 1	▲ 10	15	▲ 13	▲ 6
川本町	▲ 31	▲ 35	▲ 34	▲ 32	▲ 26	0	15	▲ 22	▲ 75	2
美郷町	26	5	7	▲ 14	▲ 32	▲ 14	▲ 38	▲ 56	▲ 12	▲ 41
邑南町	▲ 9	▲ 9	▲ 55	▲ 23	13	9	36	▲ 25	▲ 34	▲ 39
津和野町	▲ 113	▲ 61	▲ 78	▲ 18	▲ 22	▲ 10	▲ 14	▲ 94	▲ 54	▲ 60
吉賀町	▲ 21	▲ 4	▲ 39	▲ 9	1	6	▲ 11	8	23	80
海士町	20	▲ 27	17	69	8	13	▲ 15	▲ 6	5	4
西ノ島町	▲ 15	▲ 3	▲ 8	▲ 8	▲ 8	▲ 19	▲ 15	12	17	▲ 10
知夫村	▲ 9	▲ 15	▲ 16	3	4	3	28	4	26	8
隠岐の島町	▲ 46	▲ 106	▲ 83	▲ 67	▲ 61	▲ 63	10	▲ 20	▲ 42	▲ 64
計	▲ 341	▲ 290	▲ 373	▲ 218	▲ 287	▲ 158	▲ 109	▲ 326	▲ 265	▲ 208



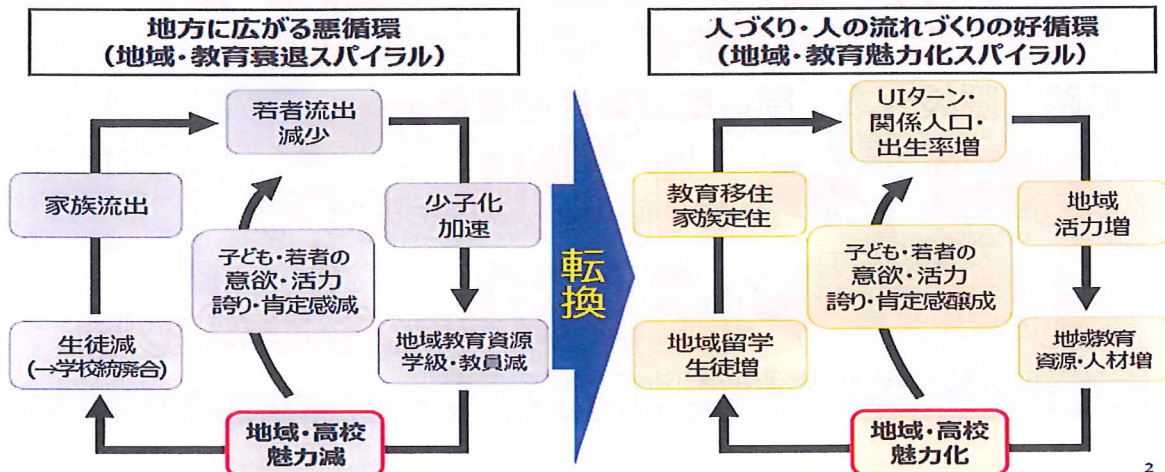
資料:「島根県の人口移動と推計人口(島根県統計調査課)



## ■ 教育の魅力化を核とした地域活性化経費（高校魅力化）

### ○高校魅力化による地方創生の必要性

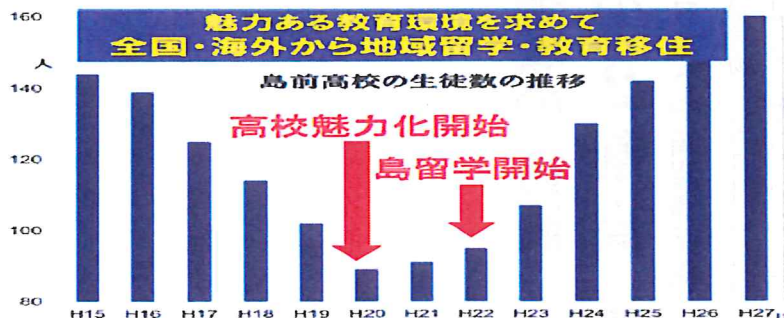
人口減少社会を切り拓き、持続可能な地方創生を実行するためには、**地方に広がる悪循環を、新たな人づくり・人の流れづくりの好循環への転換が必要。**  
特に、地域からの人材流出の出口となっている、**高校の魅力化**が重要。



### ○地域の将来を支える人材育成のための高校改革

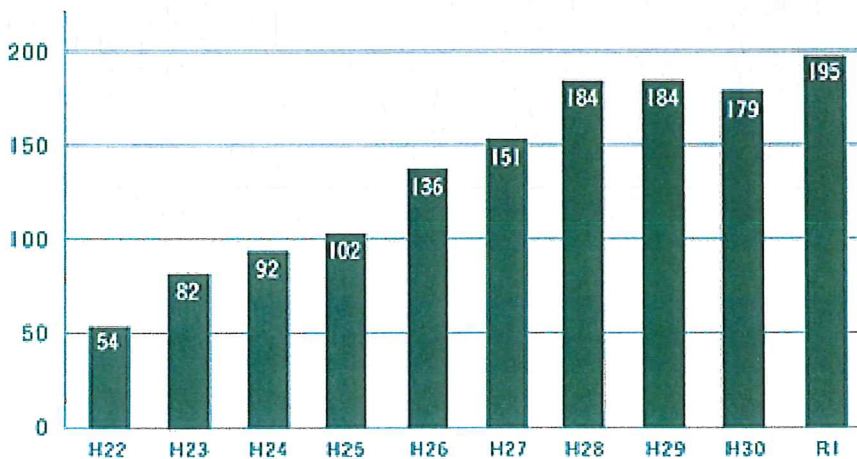
キラリと光る地方大学づくりに加え、人生の選択を考える重要な時期である、高等学校に着目して地方創生を推進（まち・ひと・しごと創生基本方針 2019）

### 高校魅力化による人口増加 【島根県立隠岐島前高等学校（海士町）】



高校魅力化や島留学（地域留学）により生徒数V字回復。これに伴い家族での移住も増加。

### ○県外中学校から県立高校に入学した生徒数（島根県）



■ 国境離島振興経費（隠岐航路運賃の低廉化拡大経費）

平成29年4月1日～

**有人国境離島法に基づき**  
 隠岐航路・航空路旅客運賃の割引が開始されます。

航路 隠岐⇄本土間 助成後片道運賃

2,920円 → 1,390円(フェリー) 島民対象

5,760円 → 2,960円(レインボージェット)

※島前⇄島後間、島前間も旅客運賃の割引対象になります。

令和元年6月29日(土)  
 山陰中央新報

# 隠岐地域の物価 本土の2割高

運送コストや商習慣反映

島根県調査

隠岐地域の物価	中型店	小型店
肉類	1.03	0.97
卵	1.15	1.25
魚介	1.11	0.84
野菜	1.41	1.61
果物	1.09	1.58
調味料	1.10	1.26
雑貨	0.94	1.25
飲料	1.03	1.26
医薬品	1.11	1.63

※本土(松江市)を1.0とした場合

島根県が、隠岐地域の物価が本土に比べて平均で2割程度高いとの調査結果をまとめた。運送費の高コストのほか、少量仕入れや商習慣に伴う仕入れ値の高さが店頭価格に反映されていると分析。県は地元関係者と協議し、課題解決を図る。調査は昨年9月12日から同月14日に実施。隠岐4町村の小売店(中型、小型店)の価格を確認した。

とした場合、隠岐地域の中型店1・11、小型店1・29となった。内訳は、野菜Ⅱ 中型店1・41、小型店1・61▽果物Ⅱ 中型店1・09、小型店1・58▽医薬品Ⅱ 中型店1・11、小型店1・63などだった。

県は、全国組織のグループ傘下の店舗は本土と同額の店舗がある一方、海上輸送費を負担する店舗は輸送費を商品価格に反映し、割高になっていると分析。小型店は仕入れ量が少なく、大量購入による割引が受けられず、価格上昇につながり、生鮮食品のうち肉と魚は小型店が本土より安くなっているものの、パックごとに冷凍状態で店頭に並んでいるため、単純に価格比較できないとした。

28日の県議会中山間地域・離島振興特別委員会・園山繁委員長(18人)で示し、県しまね暮らし推進課の平田聖路課長は「さまざまな議論の資料となるよう隠岐地域の皆さんと共有する」と話した。結果は8月下旬に開く「離島総合振興会議」で示し、課題共有や解決策などを協議する。

(多賀芳文)



